部　方　針　書

年度	部名	部長名
R5	北部総合支所	宗野　行展

1　部の経営方針　部全体を俯瞰したマネジメントの目標

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標ごとに記載）
1	地域の声に耳を傾け、地域の自主性を育み、地域が抱える課題解決に前向きに取り組む住民や事業者、活動グループ等と連携して、魅力いっぱいで元気な地域づくりに取り組む。
2	関係課や関係団体等との情報の共有を確実に行い、緊密な連携を図ることにより、地域が描く”ありたい姿”の具現化に向けて関係者と共創して取り組む。
3	市民から信頼される組織であるために、当たり前のことを当たり前に行うことが普通の行政サービスであるという市民目線を、職員一人一人が認識して業務を遂行する。
4	職員同士はもとより、来庁者や地域住民への挨拶を心掛け、身だしなみや言葉遣いなどをに気を付けるとともに、相手に寄り添った接遇を実践する。
5	職員と地域支援員が同じ目標を持ち、お互いがお互いの情報を共有し、ともに行動することにより、地域との信頼関係を築き職員一丸となって地域活性化に寄与する。
6	個々の職員が日々の生活に対して、家族や仲間等とのプライベート時間を確保できるよう、休暇の取得やノー残業デーの実施などメリハリを持って仕事ができる職場環境を作る。

◎心理的安全性確保に向けた取組（記入必須）

安心してコミュニケーションが行え、相互にリスペクトする関係性を築くために、発言機会を平等にすることや発言への否定的・抑圧的な言葉などを使用しないことを実践する。また、最近気になったことや関心があることなど、仕事以外を話題にした会話ができるよう、管理職自らが雰囲気づくりを行う。特に、朝礼・終礼の機会を有効に活用し、自由に発言する機会を設ける。

2　部が所管する主な個別計画　前期実行計画に掲げる施策に関連する特定分野における計画

No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類
1	宇部市過疎地域持続的発展計画	R3～R8	基本目標5 安心・安全	2				3			
4				5				6			

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	北部地域振興課	藤井　幹人

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

・北部地域の様々な地域資源を活用し、魅力を広く発信することで北部地域の認知度向上を図り、交流促進やにぎわい創出による地域活性化につなげていく。
・地域で活動する団体や事業者など、多様な主体との共創により、北部地域が抱える諸課題の解決につなげる。
・地域への巡回や見守り等を通じて地域住民のニーズや課題の把握とともに、地域活動を支援することで、コミュニティ機能の維持・強化を図る。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標・アウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	「うべの里フェスタ（仮称）」の参加団体数（累計） ※R4年度までは「うべの里アートフェスタ」	第五次総合計画	R4～R8	60団体	35団体	45団体	・本イベントを通じて北部地域の魅力を幅広く発信することによる認知度の向上。 ・新たな資源の発掘、再発見、磨き上げによる地域の魅力度の向上。 ・目標来場者数（R5～R8累計）：1万人 ・市外比率：30%
2	「地域計画」に基づく取組支援件数（累計） ※北部6地区	第五次総合計画	R4～R8	34件	19件	22件	地域の実情やニーズに応じた支援を通じて、住民の主体的な活動を促すことによる地域の自立化。
3	「北部オープンプラットフォームラボ」による課題解決モデル創出件数（累計）		R5～R9	20件	—	3件	地域課題の解決につながる事業創出による関係人口や移住・定住人口の増加。
4	北部にぎわい創出イベントの開催支援件数（累計）		R5～R9	50件	—	10件	・各地域がそれぞれの地域資源を活用したイベントを企画運営することによる地域活性化。 ・イベントを通じた認知度向上、交流促進、にぎわい創出。 ・目標来場者数（R5～R9累計）：2万人 ・市外比率：25%

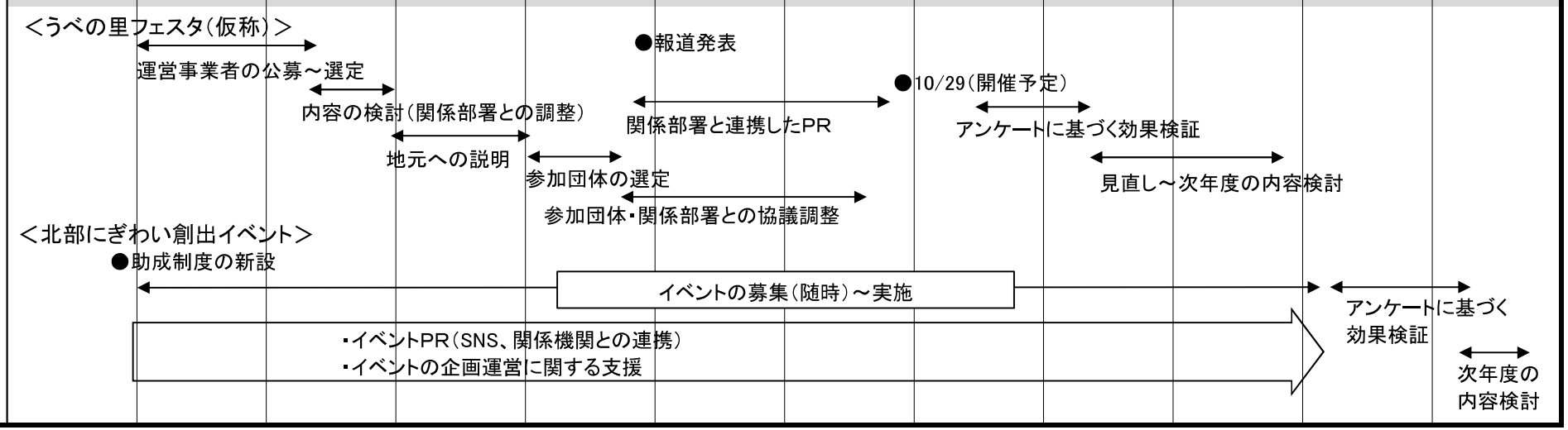
課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1・4	北部にぎわい創出イベント実施事業	北部地域は、新鮮で安心できる食材や伝統的な文化、豊かな自然など、魅力ある地域資源を有しており、様々な可能性が潜在している。こうした北部地域の地域特性や地域資源を活用したイベントを実施し、北部地域の様々な魅力を発信することで、北部地域の認知度向上を図り、交流人口の増加やにぎわい創出による北部地域の活性化につなげる。 【来場者数：第1回(H27) 16,200人、第2回(H29) 23,900人、第3回(R元) 33,700人、第4回(R4) 25,000人】	「うべの里アートフェスタ」の参加団体数：3団体 北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：ー	・「うべの里アートフェスタ」の参加団体数：12団体 ・北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：ー

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・「うべの里フェスタ（仮称）」を開催し、多様な参加団体を募集することで多世代での交流を促進する。 ・北部にぎわい創出イベントに係る助成制度を活用し、北部地域の各地区で開催されるイベントの企画運営を支援することで、地域の魅力を広く発信する。		8,590	・「うべの里フェスタ（仮称）」の参加団体数：10団体 ・北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：10件
（庁内連携課）	観光交流課、市民活動課、地域ブランド推進課　など	うち一財　6,940	
（共創パートナー）	北部地域内の事業者、各地区のコミュニティ		

事業スケジュール



課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2・4	中山間地域づくり推進事業	北部地域においては、人口減少と高齢化の進展に伴う生活扶助機能の低下や担い手不足など、コミュニティ機能の維持・強化が課題となっている。このため、地域の状況に十分に目配りしながら地域計画に基づく地域活動を支援することで、地域の自立化促進を図る。 【新規取組支援件数：H29 3件、H30 2件、R元 4件、R2 7件、R3 0件、R4 3件】	「地域計画」に基づく取組支援件数：3件 北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：ー	・「地域計画」に基づく取組支援件数：3件 ・北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：ー

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・地域計画の実施主体である地域関係者が取り組む地域づくり活動を支援する。 ・地域計画に基づく取組や地域行事について、地域内外へ広く情報発信する。		14,646	・「地域計画」に基づく取組支援件数：3件
（庁内連携課）	移住定住推進課、市民活動課、健康増進課、住宅政策課、高齢者総合支援課	うち一財 14,646	・北部にぎわい創出イベントの開催支援件数：10件
（共創パートナー）	北部地域のコミュニティ団体、住民		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

＜地域コミュニティの維持・強化係る支援＞

● 定期的な地域巡回や各種会合への出席によるニーズの把握および課題抽出

● 地域活動に係るサポート ⇒ 関係課との連携（連絡・調整）

【厚東】 子育て世代の移住定住の促進など

【二俣瀬】 地域内交通の利用促進、移住定住の促進 など

【小野】 小学校児童の増加、地域支え合い活動の促進 など

【船木】 にぎわい創出、こどもの居場所づくり など

【万倉】 地域計画改定 など

【吉部】 地域資源の利活用 など

＜北部にぎわい創出イベントに係る支援＞

・イベントの企画運営に関する支援
・SNS等によるPR

＜北部オープンプラットフォームラボに係る支援＞

活動団体や
地元との調整

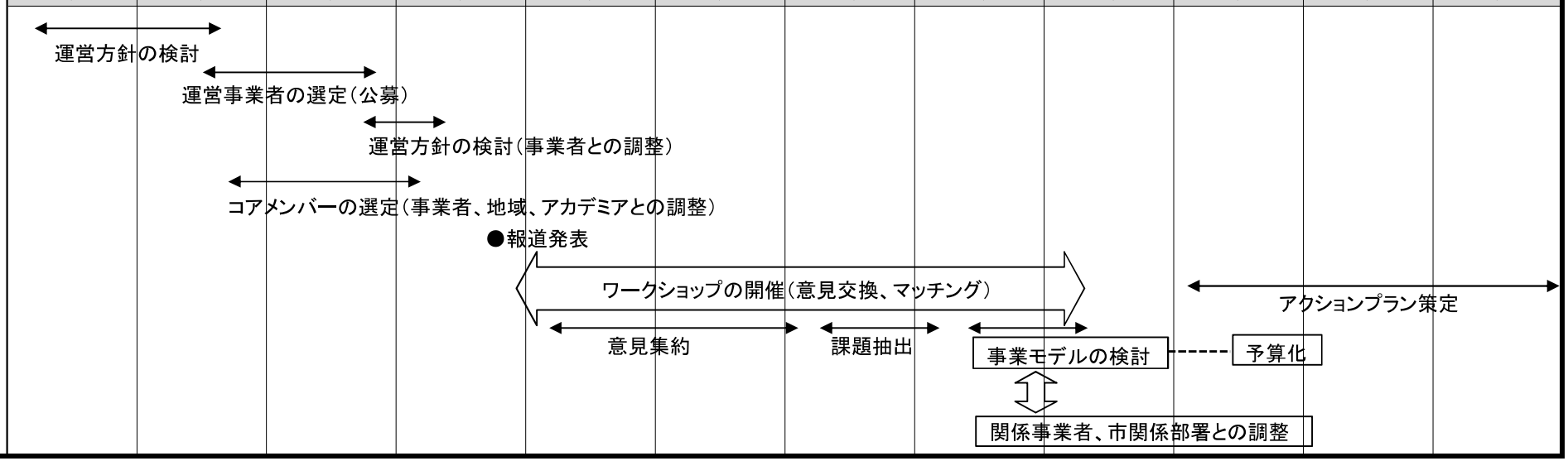
「北部オープンプラットフォームラボ」の運営支援

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	北部オープンプラットフォームラボ運営事業	北部地域は、豊かな自然や伝統的な食をはじめ、次世代につなげていく歴史や文化など、多くの地域資源を有しており、こうした地域資源を活用した地域活性化に向け、様々な個人や団体等から意見や要望があがっている。こうした多様な主体が地域の現状分析や課題の設定段階から連携し共創していくことで、北部地域が抱える諸課題の解決につなげていく。	－ －	－

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・地域活性化に関わる様々な団体や事業者等が、それぞれの活動上の課題や試行錯誤の過程、取組のノウハウや実情等について自由な意見交換や情報共有を通じて、持続可能な官民連携事業を創出する実験的活動の場として、「北部オープンプラットフォームラボ」を開設する。 ・ラボで創出された課題解決モデルを計画的に実施するためのアクションプランを作成する。		1,000	「北部オープンプラットフォームラボ」による課題解決モデル創出件数：3件
（庁内連携課）	移住定住推進課、観光交流課、文化振興課、農業振興課、農林振興課、地域ブランド推進課など	うち一財 1,000	
（共創パートナー）	北部地域内の団体や個人、事業者、コミュニティ推進協議会		

事業スケジュール



課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	市民生活課	藤原克規

1 課の使命

・保健福祉等に関する制度申請事務や諸証明発行等の窓口の第一線として、多様なサービスを窓口利用者に提供
・楠3地区（船木、万倉、吉部）のふれあいセンター活動の支援
・所管する集会所の管理

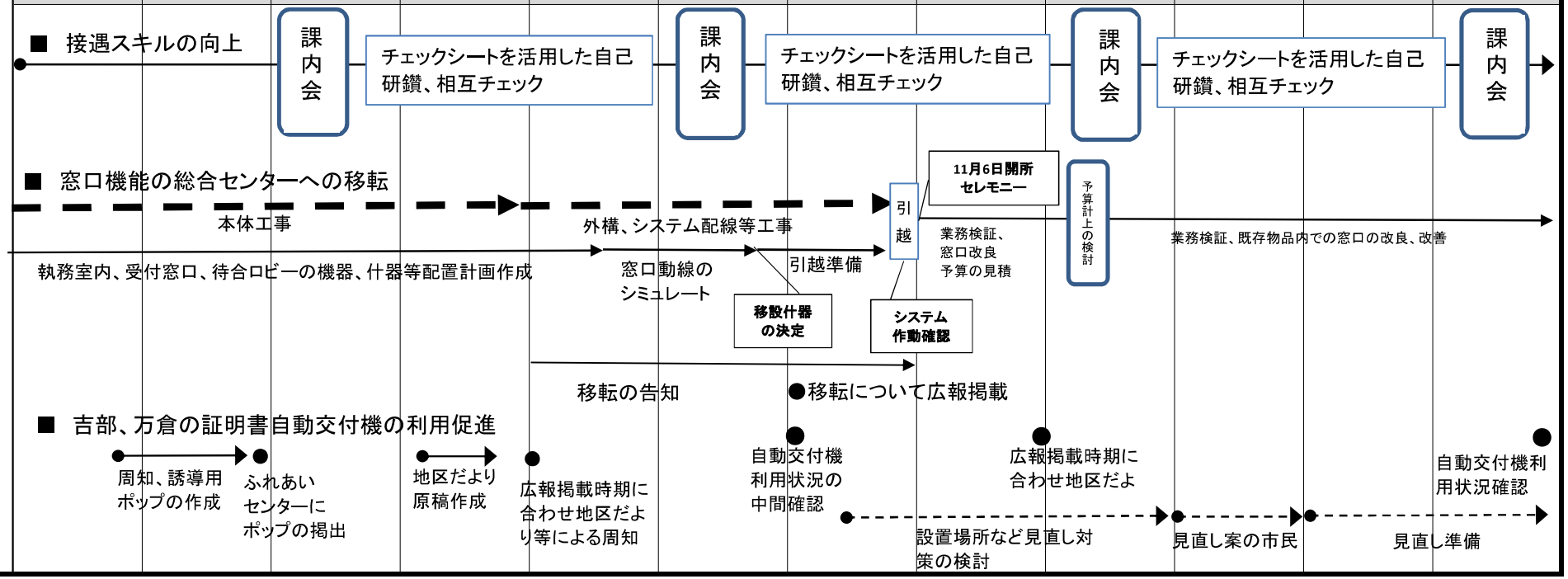
2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	楠総合センターへの窓口機能移転後の事務トラブル発生件数		R5	0件	ー	0件	・職員は、窓口機能移転直後から現在よりもスムースに事務処理ができ、来所者は旧庁舎より快適な施設、設備の中で、安心・安全に手続きができる ・市民との信頼関係を構築する
2	吉部・万倉ふれあいセンターでのコンビニ交付サービス利用率		R5	18.0%	14.9%	18.0%	・申請書を記入することなく、わずかな処理時間で、通常料金より安い手数料で証明書等を取得することが出来る ・職員の業務量の削減

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1・2	窓口機能移転事業	・耐震性のない老朽化した庁舎を解体し、その跡地を船木地区の活性化のために活用する必要がある。 ・各種行政手続きが複雑・多様化し、来所者に寄り添った傾聴と丁寧な説明、スピーディーで正確な手続きが求められている。	― ―	―

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・風通しの良い職場環境を整えるため、課内会議や1on1、日常会話などを通じた課内コミュニケーションの充実を図る。 ・図面や現地での事前シミュレーションにより効率的な配置計画を作成する。 ・移転終了後も処理状況を見ながら、継続的に配置等の改善を行う。 ・市民課などと連携して自動交付機の設置場所や、取り扱い方法、手数料の減額制度を周知する。		0	窓口機能移転後の事務トラブル発生件数0件
（庁内連携課）	市民税課、資産税課、市民課、市民活動課、環境政策課、廃棄物対策課、MNC推進課、保険年金課、地域福祉課、生活支援課、障害福祉課、高齢者総合支援課、健康増進課、こども政策課、北部地域振興課、農業振興課、学校教育課	うち一財 0	吉部・万倉ふれあいセンターでのコンビニ交付サービス利用率18%
（共創パートナー）			

事業スケジュール